

確定申告書の記載手順

- 「確定申告書」は、「申告書第一表、第二表」及び「申告書第三表（分離課税用）」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例1】（6～13ページ）に基づいて作成した「申告書第一表、第二表」及び「申告書第三表（分離課税用）」を示して、申告書の記載手順を説明します。
 - 記載手順は、矢印と番号（①～⑦）で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、6ページ以降の【事例1】及び【事例2】をご覧ください。
- なお、「確定申告書」の作成に先立って、「譲渡所得の内訳書（確定申告書付表兼計算明細書）」などの各種明細書（国税庁ホームページからダウンロードできます。）を作成します。

（手書きした部分は、便宜上、青色で表示しています。）

申告書第二表

申告書第一表

令和06年分の確定申告書

整理番号 FA2304

令和06年2月17日

納税地 T市〇〇町8-5

氏名 東京 太郎

会社員

収入金額等

所得金額等

税金の計算

その他の記入

確定申告書には、マイナンバー（個人番号）を記入する必要があります。

記載手順

- ① 「譲渡所得の内訳書（確定申告書付表兼計算明細書）」などを作成します。（6～7、14～15ページ参照）
- ② 第一表の収入金額等と所得金額等の箇所を書きます。（8、16ページ参照）
- ③ 第二表を作成します。第二表は、②及び④の記載と併せて作成します。（第二表の記載例は、9、17ページを参照してください。）
- ④ 第一表の所得から差し引かれる金額の箇所を書きます。（10ページ参照）
- ⑤ 第三表の分離課税の収入金額や所得金額などの箇所を書きます。（11、18ページ参照）
- ⑥ 第三表の税金の計算の箇所を書きます。（12、19ページ参照）
- ⑦ 第一表の税金の計算、その他などの箇所を書きます。（13、19ページ参照）

申告書記載に当たって

記載に当たっては、次の点にご留意ください。

- 1 申告書等は、黒いインクのボールペンで書いてください（消せるボールペンは使用しないでください）。
なお、複写式となっている申告書は、2枚目（控用）を取り外して使用しても差し支えありません。
- 2 フリガナは、濁点「ㇰ」半濁点「ㇱ」は一字分とし、姓と名の間は一字空けてください。
- 3 マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。
なお、1億円以上の金額がある場合には、右の記載例にならって書いてください。
- 4 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

【記載例】

縦線1本 隙間を空ける 上に突き抜ける 角を作る

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 閉じる

【記載例】

（金額が1,234,500,000円の場合）

123 4500000

【記載例】

配当 1230000

給与 2300000

譲渡所得の内訳書

（確定申告書付表兼計算明細書）【土地・建物用】

令和06年分の確定申告書（分離課税用）

整理番号 FA2401

住所 T市〇〇町8-5

氏名 東京 太郎

収入金額

所得金額

税金の計算

その他の記入

定額減税の適用がある場合は、令和6年分特別税額控除④欄の記入をお忘れなく!!

復興特別所得税額④欄の記入をお忘れなく!!

令和6年分特別税額控除 (3万円×人数) ④ 0000

復興特別所得税額 (③×2.1%) ④ 0000

特別控除額がある場合は、特別控除額の合計額⑩欄の記入をお忘れなく!!

特別控除額の合計額 ⑩ 0000